**【 講演レジュメ 】**

**改憲と大軍拡で日本とアジアの平和はつくれるのか？**

**―　いま改めて憲法の力を考える　－**

**損保９条の会・生保９条の会合同講演会講演　２３．１０．２１．　渡辺　治**

**はじめに**

岸田政権は安倍政権の軍拡を超えてさらに危険な道に踏み出した、なぜ？

岸田は明文改憲でも、安倍政権のできなかった任期中の改正実現を公約している

軍拡と改憲で日本とアジアは平和になるのか？９条は無力なのか？

　 ９条の力を改めて考える―戦後78年「戦争しない国」をかろうじて維持した運動と憲法の力

　 改憲策動を阻む市民の大きな声を！

**１　岸田政権はなぜ、安倍政権を上回る軍拡を推し進めているのか？**

**（１）岸田軍拡は、安倍政権の軍拡を超える危険性がある**

**（ａ）出発点は第２次安倍政権の「集団的自衛権行使」容認**

安倍政権は、軍事大国への野望を持ち、自衛隊の活動に対する９条の制約打破を狙った

＊自衛隊は作られたが、9条守れという運動の力で、自衛隊の活動には大きな制約が

　　自衛隊は我が国が武力攻撃を受けた場合にのみ武力行使、集団的自衛権行使の禁止

　　　個別的自衛権行使でも、原則、他国領土にはいけない／海外派兵の禁止

安倍政権は集団的自衛権行使禁止の打破を強行―2014年政府解釈改変、15年安保法制

安倍は続いて明文改憲に踏み込んだ「改憲4項目」**（資料１）**

しかし、市民と野党の共闘の頑張りで挫折、退陣

**（ｂ）岸田政権はなぜ、安倍を超える軍拡に踏み込んだのか？―アメリカの世界戦略の転換**

 菅も岸田も、安倍と違い政治への野望なし、ではなぜ安倍を上回る軍拡が？

原因は、アメリカの世界戦略転換による日米軍事同盟強化の圧力

 ＊冷戦後、一極覇権のアメリカの戦略は自由市場を脅かす「ならず者国家」テロとの戦争

その間、中国が経済発展、中国の覇権主義国家化、先行アメリカの経済・軍事覇権を脅かす

　中国、途上国に積極的に融資、投資－見返りに軍事基地、港湾等租借、

　中国「一帯一路」―アメリカに反感持つロシア、イラン、北朝鮮、途上国が結集

　　 トランプ政権下でアメリカの世界戦略の転換＝対テロ戦争から米中覇権主義対決路線へ

　　 特に、バイデン政権になって対中軍事同盟網拡大戦略へ

　　 ＊バイデン政権による軍事同盟網の強化路線で日米軍事同盟、対中包囲網の要の位置に

アメリカ、日本に、対中対決で集団的自衛権を実際に行使できる体制づくりを要求

その現れ、21年4月、日米共同声明**（資料２）**、アメリカとの約束

（１）台湾有事、対中国との軍事衝突の際、集団的自衛権行使を約束

　　「日米両国は台湾海峡の平和と安定の重要性を強調」

（２）対中集団的自衛権行使ができる攻撃的兵器の装備―「自らの防衛力の強化」

　　その中心が「敵基地攻撃能力」保有とそれを賄う軍拡

　 　菅政権は、対米約束果たせず退陣、岸田政権受け継ぐ―新段階へ

　　　 岸田は安倍のような野望持たず、アメリカの言いなり、アメリカには使いやすいコマ

**（２）岸田政権は「安保３文書」を発表して軍拡に乗り出した・3文書３つの危険**

**（ａ）アメリカとともに「戦争する軍隊」への自衛隊の改造と大軍拡**

**① 「反撃能力」とは何か？**

　　　　今まで持つことできないと言ってきた敵地を攻撃する能力を保有する

安倍政権もやらなかった憲法破壊

**②「反撃能力」保有とはミサイルだけではない、相手国を攻撃・戦争する「戦争国家」づくり**

長距離ミサイル、130の弾薬庫、ミサイル部隊、敵の行動探知のための軍事衛星群

攻撃的兵器調達のため、軍需産業の強化、支援―防衛装備品生産基盤強化法も

沖縄、先島諸島をはじめとした基地整備、民間空港の軍事利用整備、軍事研究の強化・支援

　**③ 集団的自衛権行使を担える自衛隊づくりにはとてつもない大軍拡が不可欠**

　　　5年で43兆円、研究開発・公共事業費含め27年度までに対G D P比2％に大軍拡

　　　安倍政権、７年連続防衛費増ですら１％ギリギリなのに、なんとG D P比２％へ

　　　23年度予算前年度1.4兆円増6兆8219億、24年度概算要求－さらに9000億円増、7兆7385億

**（ｂ）日米同盟の攻守同盟化・アジア版N A T O化とブロック外交への外交大転換**

**①　日米軍事同盟を、名実ともに戦争する同盟に**

今まで日米軍事同盟の強化は、日本の米軍基地を拠点に米軍の出撃範囲の拡大であった

　　今度は、文字通り、アメリカの戦争を日本が同盟により戦う、攻守同盟に

　　日米軍事一体化のための実質の構築―米軍の指揮・統制のもとの共同司令部、共同軍

さらに日米同盟を核にアジア版NATOへ―日米豪、日米韓、QUAD、NATOとの共同

　 **② 日本外交も大転換―岸田政権、ブロック外交へ八面六臂**

岸田政権は、安倍ですらとってきたアジア外交の路線を大転換、軍事ブロック外交へ舵を切った

　　　ex.13年国家安全保障戦略からASEAN評価、ASEAN外交評価が消えた、国連も軽視

**（ｃ）大軍拡を賄うための、大増税、国民負担、くらしの破壊**

＊5年で43兆円―従来計画の防衛費25.9兆円に17兆円の増額

　　　こんな大金の財源は２つしかない―暮らしに不可欠な支出削減と大増税

　　　岸田政権は、増税だけに頼らない、「歳出改革」などというが、とんでもない

　 「歳出改革」と称する暮らしにつながる財政支出の更なる削減（3兆円）

　　社会保障費は削らないというが、社会保障費、農業予算、中小企業費などの削減

　　増税（１兆円）は復興特別所得税の年限延長、その１％分を防衛費に

　→これは序の口、歳出改革では社会保障費に、増税では、消費税に行かざるを得ない

**２　岸田政権は、来年秋までの明文改憲を繰り返し公約している**

＊岸田軍拡を強行すると、９条の制約を全て壊すため、９条との乖離、覆い隠せず

**（１）９条への自衛隊明記（資料1）はなぜ危険か**

自民党、「現状の確認」という宣伝、安倍「９条解釈を１ミリも変えない」

　　しかし、それは真っ赤な嘘、９条の理念を180度変質

　　①　この規定により、現在の集団的自衛権行使できる自衛隊が合憲に

　　　　安保法制も、岸田政権の推進する敵基地攻撃能力保有も全て合憲に

　　② 最大の危険性、自衛隊＝軍事力が憲法上認められることで軍事力が憲法上の公共性に

　　　徴兵制、徴用も解釈では合憲に、軍事秘密保護法制、軍法会議の設置可能に

基地のための土地収用が可能に、cf 現行土地収用法には基地の強制収用はない

**（２）緊急事態規定の危険性―９条改憲とセットで**

２つの狙い－① 改憲の突破口、② 戦争体制への国民動員

戦時において政府が、国会を通さず命令で、国民の自由を奪い、戦争に動員する危険性

**（３）岸田改憲策動の現局面**

**（ａ）なぜ岸田政権下で明文改憲策動が加速化したのか？**

 21年総選挙後、改憲加速化に有利な条件

―維新の会、国民民主党の改憲積極化、憲法審査会で改憲の尖兵としての役割

　　　昨年通常国会での衆院憲法審査会16回開催、臨時国会7回、今通常国会16回

　　　緊急事態条項のうち議員任期延長改憲で先行

　　　岸田の意欲―来年秋までの任期中の改憲実現、繰り返し約束

**（ｂ）明文改憲策動は市民の運動で止められる－改憲派の矛盾**

① 時間が足りないー議員任期延長だけで3国会以上

② 緊急事態における議員の任期延長だけが進んで、本命の9条への自衛隊明記改憲は遅れている

　　　 打開の道―総選挙で野党第１党が入れ替わり、維新が野党第１党になると

　 ③ 参院の憲法審査会の遅れと衆院との齟齬

　　市民と野党が頑張れば潰せる

**３　日本とアジアの平和をどうつくるか？**

**（１）改憲と軍拡で日本の平和は守れるのか？**

　　なぜ、岸田は軍拡、改憲に邁進するのか？―日米同盟・軍拡の抑止力でしか安全は守れない

　　「ウクライナへのロシアの侵略を見れば９条では平和は守れない、いつ中国が攻めてくるかわからない」

　　本当に軍拡と改憲で平和は守れるのか？

　　軍拡、改憲は平和をもたらさない

－軍拡競争、国連の分裂による共同行動困難、一致した非難がないための侵略へのハードルの低さ

　　日本が戦後78年「戦争しない国」を続けたのは、軍拡でも軍事同盟でも改憲でもなかった

　　平和憲法とそれを守る市民の運動が、日本を戦争しない国にしてきた

**（２）戦後日本が「戦争しない国」を続けられた２つの要因**

**（ａ）戦後日本78年にわたる「戦争しない国」はなぜ維持された？**

　　① 保守政治の下で、９条の理念は蹂躙された安保条約による米軍駐留、自衛隊

　　　対米従属の下、アメリカの戦争に全面的に加担し、経済的に潤った

　　　にもかかわらず、アジアの戦争に、直接参戦したり、戦争自体は避けられた

　　　戦後のアジアも大きな戦争の連続―朝鮮、ベトナム、湾岸、アフガン、イラク

　　　戦後78年、「戦争しない国」は維持された

　　②　戦後日本の平和は、米軍と自衛隊のおかげ？

　　　戦後日本が「平和」だったのは、安保条約＋自衛隊のおかげか？

　　　軍事同盟で米軍が駐留し自国の軍隊を持つ国は複数あるが、日本以外は戦争を経験

　　　　韓国、フィリピン

　　　日本は、米軍駐留があり自衛隊も大きくなったが、

③ 改憲策動に対する市民の運動により憲法が維持され政府は自衛隊の活動を制約せざるを得ず

　集団的自衛権行使禁止、海外派兵禁止、他国に脅威を与えるような攻撃的兵器禁止など

　さらに非核３原則、防衛費の対G N P比1％枠、武器輸出３原則なども

　　　また、自民党政権下でも、憲法を意識した外交が展開されたこと

**（ｂ）９条による自衛隊の活動に対する制約が、戦争加担、軍事衝突を防いだ**

戦後日本が戦争に巻き込まれる事態は２つ

　　　１）一つはアメリカの戦争に日本が集団的自衛権行使で加担、

　　　ベトナム戦争に韓国（64〜73延べ32万）、タイ、フィリピン、オーストラリア、

ニュージーランド

　　　湾岸戦争では、オーストラリア、ニュージーランドも多国籍軍

ところが、日本は、運動と野党の圧力で、政府、アメリカのベトナムへ５万人派兵の要請を断った

湾岸戦争の「共に血を流せ」という圧力でも、市民の反対の声で派兵できず

　　　　アフガニスタン戦争でインド洋海域に、イラク戦争でイラク領土に進駐

しかし、海外派兵反対運動の高揚で、集団的自衛権行使禁止、海外派兵禁止の制約で人殺しできず

２）２つ目は領土紛争の軍事衝突化

戦後アジアの戦争・武力衝突の多くは領土紛争

ex　中国―ソ連、インド、ベトナム、フィリピン

日本は北方領土、竹島、尖閣で紛争あるが、1度も戦争、軍事衝突なかった２つの要因

武力行使がなければ武力行使できないという９条の制約で領土紛争に自衛隊出ず

**（ｃ）自民党政権下でも追求された、９条を念頭に置いた外交**

実は自民党政権のもとでも憲法を念頭に置いた外交が行われてきた

自民党外交―対米追随外交、しかし70年代にアジア外交前面に

―田中内閣日中国交回復**（資料３）**、福田内閣全方位外交、ASEAN**（資料４）**

90年代に転換、しかし小泉政権、安倍政権ですらこの枠組み維持

**（ｄ）岸田政権は、戦後日本が「戦争しない国」を続けた２つの力を否定**

軍事同盟と軍事力による「安全」を求めている

**（３）「万一、中国が攻めてきたら９条なんて役に立たない」？**

＊岸田政権は、「安全保障環境は激変した」「ウクライナの戦争はアジアでも」というが？

**（ａ）中国は日本に攻めてこない**

　　　あるとすれば、台湾をめぐる米中戦争に日本が加担する時

　　　米中戦争は防げる―米中覇権主義対決は激しいが戦争は不可避ではない

だが放っておいては戦争の危機、止めるのは平和外交の力しかない

**（ｂ）どうすれば、日本は米中の仲介になれるか、戦争を防げるか？**

　　　① 中国問題では集団的自衛権不行使を宣言

② 岸田改憲を阻止し、憲法堅持を宣言

　　　③ 安保法制の集団的自衛権行使部分廃止

　　　　　この３つのうち一つでも実行すれば、アジアと世界への強い平和のアピール

　 台湾有事は作らせない―アメリカは、日本が加担しなければ、軍事介入困難に

その上で中国に、台湾問題の平和的解決、武力行使しないことを約束させる

**（ｃ）アジアの平和を実現するには？**

　　　政権交代により、９条を活かした平和外交へ

　　　―紛争を平和的に解決する機構、核、通常軍備軍縮、核兵器禁止条約批准へ

　　その第１歩は、改憲を阻止する、軍拡予算を組み替えること―世界に向けたアピール

**むすびにかえて―いまこそ市民の草の根の力が求められている**

**（１）アジアの戦争は止められる、９条は死んでいない**

　　戦争させない78年を維持してきたことに確信を

　改憲阻止、集団的自衛権行使禁止、安保法制廃止により、日本のイニシアティブでアジアの戦争阻止

**（２）大軍拡、改憲を阻止することは可能**

　衆参両院では改憲勢力が３分の2を超える議席を持ち、野党共闘は困難に直面しているが

　今までも、３分の2を超える議席の下で改憲を阻んできた、小泉政権、安倍政権の改憲策動阻止

　国民は、軍拡や９条改憲に賛成していない−5月3日の朝日世論調査

　＊９条を変える方が良いか？―変える３７％、変えない方５５％

　　台湾有事で米軍と共に武力行使１１％、後方支援にとどめる５６％、米軍とすべきでない２７％

　＊敵基地攻撃能力保有―賛成５２％、反対４０％

　　防衛力強化―賛成＋どちらかと言えば６１％、反対＋どちらかと言えば１１％

　　国民は、９条は支持しているが怖がっている、運動次第で国民は変わる

　**いま、何が必要か？―３つの活動**

　１　この秋、草の根から、岸田軍拡反対、改憲阻止で声を－「10・5九条の会大集会」を確信に

　　　cf 九条の会声明**（資料５）**

　２　集団的自衛権行使はしない、安保法制廃止、９条改憲反対とくらしを守る、の一致点で共闘再構築

　３　衆院選で憲法擁護の立憲野党を応援する－維新の会を野党第一党にさせない

　今こそ、九条の会の出番！